

日本ユング心理学会第7回大会
ワークショップのご案内

本大会においても引き続き、認定心理療法士資格をもつ講師陣による5つのワークショップを開催いたします。臨床心理士の資格更新ポイントとしては、ワークショップとプレングレスへの参加で2ポイント、大会への参加で2ポイントが取得できます。

今後も当学会資格研修委員会では、心理療法の専門資格としての認定心理療法士の位置づけがさらに明確なものとなるよう、種々の研修機会を提供していきたいと考えていますので、この大会のワークショップにも是非奮ってご参加ください。

資格研修委員長 河合 俊雄

1. ワークショップ概要

会期: 2018年6月23日(土) 9:30~12:00 (受付 9:00~)

会場: 联合会館(東京都千代田区神田駿河台3-2-11)

参加資格: 以下の条件のいずれかを満たす方

- ①日本ユング心理学会(JAJP)会員
- ②心理臨床の実践に職業として携わっている方
- ③臨床心理学を専攻する大学院生

参加費:

| | A 5月1日までに納入の方 | B 5月2日~6月8日までに納入の方 |
|-----------|------------------|-----------------------|
| 会員 | 5,000円 | 6,000円 |
| 非会員 | 7,000円 | 8,000円 |
| 非会員(大学院生) | 6,000円 | 7,000円 |

*当日参加は、定員に余裕のある場合に限り受付いたします。

2. ワークショップ・コースのご案内

A 夢の分析と臨床

講師: 猪股 剛(帝塚山学院大学/猪股分析プラクシス)

内容: なぜ夢の分析がユングの心理療法の主たる手法なのか。夢が私たちの現実において果たす役割とはいかなるものなのか。夢を他者に語り、夢を通じて自分を語り、夢を通じて自己実現に向かうとはどのようなことなのか。今回のワークショップでは、JungとGiegerichの著作から夢の臨床的な意味をあらためて問い直すと共に、夢を中心に事例を検討し、あらためて夢の分析の臨床的な意義を明らかにしたい。

事例提供: 公文 佳枝氏

B 対象喪失をめぐるイメージ表現

講師: 岩宮 恵子(島根大学)

内容: 大きな喪失体験があったとき、人はどのようにそれを越えていくのだろうか。

モーニングワークという言葉は広く知られるようになってきたが、その在り方は当然のことながら、ひとりひとりまったく違う。

このワークショップでは、突然の重大な対象喪失を体験した少女が、どのようなイメージ表現によってその喪失と向かい合っていたのかを、スクールカウンセラーの実践報告から検討していきたい。

事例提供: 井上 みゆき氏

C 心の変容にとっての『まもり』『こもり』の意味を問う

講師: 川戸 圓(川戸分析プラクシス)

内容: 『まもり』には神の加護という意味があり、『こもり』には神の領域に隠るという意味がある。いずれも「大いなるものの力」に包まれた状態をいう。何故、私たちは、「大いなるものの力」に包まれた状態を必要とするのであろうか。それは、心が変容をせざるを得ない時、心は存在の危機に直面するからではなかろうか。「大いなるものの力」に包まれた中でこそ、心は変容の糸口を掴むのだと思われる。「不登校」「引きこもり」といった現代的な心の病を、上述した『まもり』『こもり』の観点から紐解いてみたい。

事例提供: 基本的には自験例で進めるが、このタイトル・概要で、是非、事例を出してみたいと思われる方はご相談下さい。

D 今日における「精神病理」理解とその見立て—病態水準／発達スペクトラム／主体スペクトラム

講師：田中 康裕（京都大学）

内容：今日の心理療法においては、対峙する「疾患単位」が以前とは様変わりしてきているばかりか、「精神病理」概念自体をも見直さざるをえない状況にある。このような状況にあつて、副題にあるような「病態水準／発達スペクトラム／主体（脆弱性）スペクトラム」という観点をセラピーのなかでどのようにして活かしていけばいいのか、参加者から提示される複数の事例を検討することで、実践的に考えてみたい。

事例提供：面接初期の段階のものでもかまわないので、夢・箱庭・描画等の何らかのイメージ表現を含む、見立てに困った事例を募集します。

E 動物が話しかけてくるイメージへのユング心理学的アプローチ

講師：吉川 眞理（学習院大学）

内容：昔話の中では、動物から話しかけられる場面がしばしば出てくる。ユングの『赤の書』においてもそのような場面がみられる。動物の夢はしばしば報告されるが、動物が話しかけてくる夢については、それほど多くないかもしれない。動物たちの言葉によって、夢見手にはどんな変化がもたらされるのだろうか？事例をもとにユング心理学的な理解を展開する。

事例提供：動物が話しかけてくる夢や遊戯療法の事例を募集します。

3. ワークショップの参加申し込み手続き

1. 当学会ホームページ (<http://www.jajp-jung.info/conference.html>) 及び、右記 QR コードの申し込みフォームよりお申し込みください。登録が完了しましたら自動返信メールが送信されます。（申し込みフォームは、パソコン・スマートフォン対応）
定員に限りがあるため先着順となります。お早目にお申し込みください。



2. 自動返信メールの内容をご確認の上、2週間以内に、本書類に同封の郵便払込取扱票の各項目の参加費額に○を付け、合計金額をご納入ください。

2週間を過ぎて参加費の納入がなかった場合、申し込みを取り消させていただく場合がありますのでご注意ください。

- 2018年5月1日（火）までにご納入の場合は、**A**の参加費をご納入ください。
- 2018年5月2日（水）～6月8日（金）にご納入の場合は、**B**の参加費をご納入ください。
- 郵便払込取扱票での参加費納入期限：**2018年6月8日（金）**

*振り込みの際には、必ず参加者ご本人の名義でお手続きください。

*郵便局に備え付けの払込取扱票に必要事項をご記入の上、納入されても結構です。

郵便振替口座：00980-2-195483

加入者名：「日本ユング心理学会年次大会」（ニホユングシリガツカイネジタイカイ）

*郵便払込取扱票の記入見本は当学会ホームページに掲載しております。

- ※ 参加費の納入をもって参加の予約完了とみなします。今回の大会は定員に限りがあるため、必ず納入期日までにご納入をお願いいたします。
- ※ 本ワークショップと同日午後のプレコンgres両方の参加をもって1日の研修と見なし、日本臨床心理士資格認定協会「臨床心理士教育・研修規定別項」第2条第3項「本協会が認める関連学会での諸活動への参加」の通りポイントが付与されます。
- ※ プレコンgresの内容がご覧になれる大会第一号通信見本は、当学会ホームページに掲載していますので、非会員・大学院生の方はそちらも併せてご参照ください。
- ※ 参加証は当日、会場の受付にてお渡しいたします。事前の送付はございませんので、ご了承ください。

4. ワークショップ事例発表申し込み手続き

ワークショップにて事例発表をされる方は、以下の要領で申し込んでください。

1. 発表資格は、ワークショップ参加資格に準じます。
2. 当学会ホームページ及び、右記 QR コードの申し込みフォームよりお申し込みください。

(申し込みフォームは、パソコン・スマートフォン対応)

「発表者情報」(氏名・所属・連絡先等)、「ワークショップ事例発表申込」(①発表希望のワークショップ、②発表予定題目と200字程度の概要、③液晶プロジェクター使用の有無)に必要な事項を入力してください。

※発表に際して使用できる映像機器は、液晶プロジェクターのみです。

※ノートパソコンは必ずご持参ください。Macの方は、コネクタもご持参ください。

※デジタル出力(HDMI)未対応です。HDMI出力のパソコン使用の場合は、変換アダプターをご持参ください。

3. 申し込み期限：2018年2月28日(水)

4. ワークショップ事例発表の採否についてのご連絡は、2018年4月初旬に通知いたします。



お問い合わせ：日本ユング心理学会 (JAJP) 事務局 office@jajp-jung.info